



第65号 富水地区まちづくり ふれあいだより

発行日 令和5年4月8日
発行 富水地区まちづくり委員会
広報分科会会長 村越一馬
事務担当 小田原市役所地域政策課内
住所 小田原市荻窪 300 番地
電話 0465-33-1389



歴史と文化を訪ねる散歩道

講師:小田原市文化財課学芸員 保坂 匠 氏

3月19日富水地区まちづくり委員会地域振興・環境美化分科会が主催する標記の講演会が開催されました。スタッフを含め53名が参加。

富水地区に点在する神社・仏閣・石造物など30カ所50点の文化財をスライドで紹介していただき、私たちの先祖がどんな願いを込めてそれらを祀り、大切にしてきたかを解説していただきました。

まさに「灯台下暗し」で、はじめて見聞することも多く、訪ねてみたいという気持ちに駆り立てられる内容でした。その中から特に印象に残ったことを3つにまとめて紹介します。

1.庚申塔は、三尸駆除の記念塔

人体に宿る三尸という虫が、60日ごとの、庚申の日の夜に体内から抜けだし、宿主の罪業を天帝に報告し寿命を縮めていく。庚申の夜に宿主が寝なければ、三尸は人体を抜け出せない。そこで村人は講仲間を作って、庚申の晩に集まり、おしゃべりや勤行で夜を明かすという行事が生まれた。18回の講を重ねて3年を経ると、請願成就で庚申塔が建てられたという。

新屋稲荷神社境内にある自然石の板碑の庚申塔は、富水地区では最も古く1658年建立と刻まれている。友愛幼稚園そばの旧道に建っている三基の庚申塔は、真ん中が文字塔で1697年建立と一番古く、両端の三猿と青面金剛の彫りがある石塔はそれより新しい。これは仏教信仰と相まって青面

金剛を庚申塔の主尊とした時代が、新たに現れたことを物語っている。

2.路傍にたたずむ道祖神の種類

1月14日に行われる「どんど焼き」が道祖神と密着した火祭りとされているのは、関東甲信越と鳥取県だけだそう。しかも、小田原の南鴨宮と前川では、道祖神祭りに、提灯や人形を飾った山車が曳かれるが、小田原と群馬県の高崎にしかない珍しい様式だそう。

石造の道祖神の種類には、双体像や文字碑がある。府川にある八街の道祖神には、八衢彦命・八衢姫命という神名が刻まれている。この二神は、古事記において道俣神(分かれ道に立って守る神)として登場しており、日本神話に登場しない道祖神を神道に位置づける神として祀っている。さらに、天孫降臨で道案内役を果たした猿田彦神(天狗の顔を持つ)も道祖神として祀られることがあるそう。

北ノ窪の1987年建立の線彫双体像の道祖神は、小田原市の有形民俗文化財に指定されている。

新屋下にある道祖神は、造立年の刻みはないものの、台座にのった双体像の上に破風のようなでっぱりが付いているのが特徴で、「わびた風情が古い時代を匂わせる」として講師の保坂先生一押しの道祖神だそう。

3.唯念と木食観正の布教の足跡

穴部には1864年建立の唯念名号



碑がある。江戸時代末期、身命を惜しまず、人々の凶難を救って尊ばれた唯念上人の遺徳を偲び、建てられたもので、名号碑には、上人の書となる「南無阿弥陀仏」の文字と、池上から駒形までの名主を含む61人の名も刻まれている。当時は上人を慕って信者になる人も多く、念仏講として小田原でも広まり、人々の信仰のよりどころとして、大変なお金をかけて名号碑を建立したことがうかがえる。

久所公民館の敷地には、木食観正の碑がある。木食観正は、江戸時代にはたくさんいた遊行僧の一人で、各地のお寺に滞在しながら布教し、自身も修行をしていた。米穀を断ち、木の実だけを食べて生き(木食)、民衆に施す加持祈祷は、霊験あらたかで、その評判は江戸市中にまで伝わり、御利益を求める信者が観正のもとに殺到したと伝えられている。



相州小田原観正上人御利生記



[新屋]板碑の庚申塔



[府川]三猿と青面金剛の庚申塔



[新屋下]双体道祖神



[府川]八街道祖神



[久所]木食観正碑

2/26(日) 仙了川がきれいになった！

青少年育成会と体育振興会が主催する仙了川クリーン作戦が行われました。泉中学校の生徒12名も加わり、総勢33名で仙了橋から水源橋の約1kmを川底と土手のグループに分かれて清掃を行いました。

川底からは自転車や鉄製パイプ、フライパンなど。土手からは木材、空缶、ペットボトルなどを拾い、2時間の清掃で軽トラック3台分のゴミが集められました。水資源となる清流、憩いの散歩道として生活に密着している仙了川と狩川の環境維持は地域の皆さんに支えられています。



泉中学校の生徒たち



2/5(水) 木村秀昭さんが市民功労賞受賞



守屋市長とツーショット

令和4年度小田原市市民功労賞の贈呈式が三の丸ホールで開催され、富水自治会連合会長の木村秀昭さんが受賞されました。長年自治会総連合の会長も務められ、地域の活性化や顔の見える関係づくりを目的に「自治会カードおだわら」や「ホームページ開設」など新たな事業に取り組み、地域一丸となった活動の展開や地域の発展に大きく貢献されました。

3/18(土)19(日) 北ノ窪天神社の祭り

北ノ窪天神社の祭禮が4年ぶりに、富水地区で先駆けて行われました。今年は、子ども神輿や山車も繰り出し、友愛幼稚園の子ども神輿も加わって、2日間にわたり賑やかに地域を巡りました。氏子総代の實方克夫さんは「もと通りの祭りができて良かった。さすがに疲れました」と笑みを浮かべていました。



1/31(火) 北ノ窪・久所で防犯パトロール



曇天の肌寒い中、まちづくり委員会防犯分科会と自治会役員、警察官、市職員など合計14人が参加して、北ノ窪・久所を巡回する防犯パトロールが実施されました。特に、子どもたちが集まりやすい公園を中心にまわり、途中、「SOS! こどもかけこみ所」の協力宅に立ち寄り「ながら防犯」推進のエコバックを配布してまわりました。

交通安全・防犯教室

主催／交通安全分科会・防犯分科会
場所／富水小学校屋内運動場

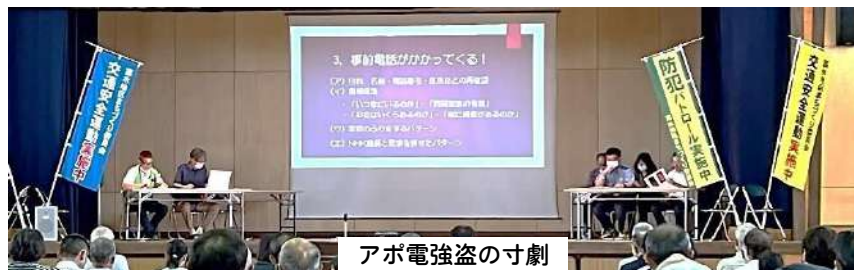
去る6月18日(日)に189名の参加者が集まって「交通安全・防犯教室」が開催されました。

01 防犯教室

小田原警察署生活安全課の本郷課長さんから、特殊詐欺の最新手口についてお話を伺い、そのあと防犯分科会によるアポ電強盗の寸劇を見ました。アポ電強盗とは、「ルフィー」の名前で一躍有名になった強盗団の手口で、新手的侵入犯罪です。寸劇では「命を脅かされる怖さ」を感じました。また最近では、市役所、警察、消防等の公的機関の職員を装って、①ATM 操作による現金振り込み要求、②レターパック・宅急便で現金送付要求、③カード・通帳の預かりを行う詐欺が目立つそうです。詐欺に遭わないためには①お金の話が出たら詐欺と思うこと。②自宅電話は留守電に設定すること。これらが効果絶大とのことでした。



大村防犯分科会長

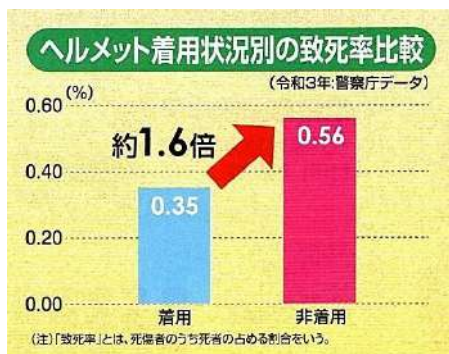


アポ電強盗の寸劇

最近では自転車事故が増え社会問題化してきています。わかりやすいスライドを使って小田原警察署の小川巡査部長さんから自転車運転の注意事項についてお話をいただきました。主な内容は、①ヘルメット着用の努力義務、②自転車のルール、③乗車時の注意事項についてです。

自転車は気軽に乗れるとはいえ、道路交通法では「軽車両」に分類され、違反すれば罰則が科せられる場合があります。車やバイクと同様に、事故の際には被害者になるだけでなく、加害者にもなりうるだけに、安全を最優先した運転を心がけねばならないことを再認識しました。

02 交通安全教室



小田原警察署小川巡査部長

03 吹奏楽演奏

スペシャルゲストとして、今年は小田原市立城北中学校吹奏楽部にご出演をいただき、ワンピースのウィーアー! などパワフルな演奏を披露していただきました。途中1年生によるダンスも加わり、会場からの万雷の手拍子で盛り上がりしました。久しぶりに若返った気分になりました。



指揮/顧問の羽入田先生



城北中学校吹奏楽部



5/20(土) 自治会・各種団体役員歓送迎会

富水地区の16自治会の役員と社協をはじめとする各種団体役員が一堂に集まって、新旧歓送迎会が行われました。木村富自連会長、吉澤社協会長の挨拶のあと、守屋市長・柳下教育長・篠原市議会議員・小田中泉中学校長様よりご祝辞をいただき、退任自治会長・団体役員への記念品贈呈及び各種団体への助成金授与式が行われました。第二部では、4年ぶりに懇親会が開催され、参加者一同、和やかな時間を過ごし、新たな出会いや交流が生まれる場となりました。



木村会長



吉澤会長



129人の参加者



北ノ窪 VS 柳新田

6/4(日) 第62回富水地区区民球技大会

小田原アリーナで、卓球、スポーツ吹矢の2競技が行われました。卓球は、柳新田3名、北ノ窪4名の2チームのみの参加で、いきなり決勝戦となりました。男子シングル、混合ダブルス、女子シングル、男子ダブルス、の4種目を行い、優勝は柳新田チーム、準優勝は北ノ窪チームでした。スポーツ吹矢は、7チーム(飯中A・B、北ノ窪A・B、府川、本村、穴部)計28名の参加がありました。勝ち数と得点数で競い合い、優勝は飯中Aチーム、準優勝は飯中Bチーム、第3位は北ノ窪Aチームでした。勝敗を決める大会ではありましたが、試合の結果に関係なく、参加者同士のコミュニケーションが図られ、和気あいあいとした雰囲気で行われました。

月2回 パンとホットドックはいかが？

高齢者介護など福祉サービスに志を持つ、「小麦の奴隷」さんと「濱や」さんが定期的に包括とみず前で移動販売を始めています。「小麦の奴隷」のパン販売は毎月第1・第3水曜日、「濱や」のホットドックは毎月最終火曜日です。

認知症施設の経営者でもある鳥海さんは、買い物にお困りの方に、おいしいパンを届けたいと思ったのがきっかけだそうです。ぜひ、包括とみずに足を運んで、味わってください。優しい味がしそうですね。❤️



ハザードマップで確認作業

6/21(水) ミッキーの会「親子で防災教室！」



大好きママのバスに乗って

小田原子ども防災の箕輪さんをお招きして、自分たちの住む場所どんな土地なのか、ハザードマップで確認してから、災害時の心構えやちょっとしたお役立ちアイデアなどを伝授していただきました。

「バスに乗って」では、くねくね道やガタガタ道を大好きなママと一緒に進みました。おさるのジョージやアンパンマンも登場して、今回も楽しい時間を過ごすことができました。



第67号 富水地区まちづくり

ふれあいだより

発行日 令和5年9月5日
発行 富水地区まちづくり委員会
広報分科会会長 村越一馬
事務担当 小田原市役所地域政策課内
住所 小田原市荻窪 300 番地
電話 0465-33-1389



7/29 穴部・下清水地区



7/29 西北地区



8/6 若宮地区



7/29 西北地区



7/30 本村地区



7/27 穴部新田地区



8/5 北ノ窪地区



8/5 北ノ窪地区



8/12 久所地区



7/29 府川地区

飯中地区の夏祭りは台風7号接近のため中止になりました。

夏の熱い方ぶる

7/30(日) 光る泥だんごを作ろう！

富水地区まちづくり委員会子どもサポート分科会が「光る泥だんご作り」を開催しました。コロナで3年間開催が見合わされていたこともあり、申し込みは早々に定員に達する人気でした。当日は立山分科会長の挨拶のあと、泥だんごマイスターの府川悟志さんのレクチャーで、富水・報徳小学校の1～3年生の児童と保護者合わせて41名が、だんご作りに挑戦しました。顔や衣服に泥が付くのも気にせず、さらさら粉をだんごに付けてくる転がし、ひたすら作業に没頭。見る見るうちに光る泥だんごができました。参加者からは、「楽しかった。もっとやりたかった」、「子供と一緒に夢中にできました」、「泥や粉など家でやったら絶対怒られてばかりになる作業でしたが、汚れても、こぼしても、スタッフの方が親切に対応して下さい安心してできました」などと大好評でした。下半期には、高学年を対象に同企画を開催する予定です。楽しみにしてください。



7/29(土) 「社会を明るくする運動」講演会

青少年育成会による「社会を明るくする運動」講演会が開催されました。澤口ゆりあ先生をお招きして「ネットトラブルから我が子を守れ!」をテーマに講演をいただき、多くの事例を示していただきました。動画投稿サイト上での炎上狙いの迷惑行為、そこで横行する陰謀論を盲信してしまう児童、動画投稿サイトで再生速度を速めた動画や激しく展開するショート動画を長時間視聴することで脳疲労や神経症を発症してしまうケース等々。子ども達のデジタルツールの節度ある利用が如何に大切か考えさせられました。

7/16(日) 防災リーダーの救命講習会

富水地区まちづくり委員会防災分科会が主催する普通救命講習会が、城北タウンセンターいずみで開催されました。受講者は、防災分科会9名、防災リーダー4名の計13名でした。突然の心筋梗塞、脳卒中等やけがで倒れ、呼吸や心臓が止まった時、救急車が来るまでに約9分かかると言われていますが、その間、救命の向上につながる応急手当が重要です。受講者は、3つの班に分かれ、小田原市消防栢山出張所の3名の講師から、訓練用人形を使用し、①胸骨圧迫、②AEDを使って心肺蘇生の実践的な実習を受講し、「普通救命講習修了証」の交付を受けました。



7月中旬より 各地のゴミ集積場にポスター

富水地区まちづくり委員会地域振興・環境美化分科会では「ゴミ集積場のゴミ出しマナー」を啓発する目的でポスターを作成しました。デザインは小田原城北工業高校デザイン科の生徒に作成していただいたものです。全部で7種類あり、どれも色鮮やかなポスターになっています。富水地区では、いまま宅地が造成され、集積場も年々増加しています。ゴミ収集作業員さんが効率よく回収できるように、各家庭でマナーを守り、収集員さんに感謝の意を示したいですね。



各所で工夫して設置されています
網の上に乗っかるように設置した例





第68号 富水地区まちづくり

ふれあいだより

発行日 令和5年11月3日
 発行 富水地区まちづくり委員会
 広報分科会会長 村越一馬
 事務担当 小田原市役所地域政策課内
 住所 小田原市荻窪300番地
 電話 0465-33-1389

これまでの健民祭に代わる行事となるレクリエーション大会が、去る10月1日、泉中学校で行われました。地域の大人や子ども約130名が訪れ、楽しそうに身体を動かしていました。どの種目も、年齢や体力にかかわらず誰もが楽しめる魅力的なニュースポーツが取り入れられていて、役員さんの一人は、「来年は体育館でeスポーツも取り入れたい」と意欲満々でした。



第1回 富水地区レクリエーション大会
 2023 10月1日 (雨天時は体育館イベントのみ)
 時間 AM9:30~PM12:00
 場所 泉中学校 グラウンド&体育館
 内容
 ・各種競技体験ラリー
 ※体験ラリー終了後、景品選呈
 ・赤ちゃんハイハイレース
 参加資格 2歳以下でハイハイが出来る事
 受付場所 校舎と体育館の渡り廊
 受付時間 AM9:45~AM11:30
 ※定員 200名様に定員証を贈呈
 ・各種団体PR
 ※駐車場、校舎内、体育館内
 富水地区まちづくり委員会 泉中学校 小田原市役所地域政策課内
 主催：富水地区自治会連合会 主管：富水地区体育振興会



第1回ラリーカード 記録

各種体験競技	記録
1. 50m走	12.31
2. ペタンク	45
3. モルック	98
4. グラウンドゴルフ	17.3
5. 70m走	
6. 健康フェック (体育館裏)	

※4種目以上達成で景品交換(アンケートにも)



「私たちもお手伝いさせていただきました！」 泉中生徒22名が大活躍

元気な笑顔で優しくサポート

それぞれの競技には、泉中学校の生徒がスタッフとして関わり、来場者にやり方を優しくアドバイスしていました。体育振興会の役員さんとのチームワークも良く、楽しい雰囲気を作ってくれました。手の空いた合間には自分たちも競技をして、楽しんでいる姿が印象的でした。



団体PR(富水サッカー)

8/26(土) 4年ぶりの福祉バザー

富水地区社協の婦人部連合会が中心になって4年ぶりの開催となりました。各自治会から集められたバザー品は例年より少なめと言うことでしたが、それでも体育館いっぱい品物が陳列され、多くの買い物客で賑わっていました。売上金は全部で12万3千円。富水地区内11の活動団体に配分され、福祉活動に役立てられるということです。



7/26(土) 穴部・下清水「子ども相撲大会」

穴部・下清水自治会こども部主催の夏休み恒例「子ども相撲大会」が穴部公民館横の公園で開催されました。正式には、「六夜堂奉納相撲大会」と言われます。江戸時代後期から明治初期に、穴部にあった六夜堂(念仏講のお堂)のそばを流れる狩川に、大水で流された子供が流れ着きました。その供養のために始められたと言われています。当日は、3歳から小学6年生までの計12人(男子4人、女子8人)が参加しました。土俵が作られ、清められたあとに、大会役員による模範相撲が行われると、子どもたちの取り組みが始まりました。真剣さの中にも楽しみながらの取り組みに、観客から大きな拍手が沸き起っていました。参加賞として全員にメロン、ナシなどが配られました。



9/18(月) 各自治会で敬老祝い

今年も富水地区の各所で敬老祝いの行事が開かれました。公民館でお祝いをすると、民生委員が個人宅を回ってお祝い品を届けるところと、自治会によって違いはありますが、長年社会につくしてこられたお年寄りの話に耳を傾け感謝をし、長寿を共に祝う良き日となりました。



富水地区最高齢者の吉澤キヨ様(103歳)



穴部公民館

10/22(日) 小田原市いっせい総合防災訓練

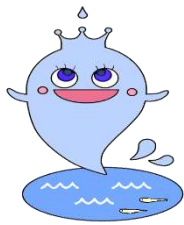


報徳小…給水車の応急給水訓練



富水小…耐震性貯水槽取水訓練

震度6強の地震を想定した小田原市いっせい総合防災訓練が実施されました。広域避難所の富水小では210名が集い、耐震性貯水槽の取り扱い、AEDの心肺蘇生訓練、消防団によるポンプ操法の披露が行われました。報徳小では76名が集い、炊き出し器「まかないくん」の操作、応急吸水口からの取水訓練、給水車から給水袋に注水した後の携帯体験が行われました。



特集号 富水地区まちづくり ふれあいだより

発行日 令和5年11月18日
発行 富水地区まちづくり委員会
広報分科会会長 村越一馬
事務担当 小田原市役所地域政策課内
住所 小田原市荻窪 300 番地
電話 0465-33-1389

第10回 富水地区ワイワイフェスタ

10/28

今年で10回目となる富水地区ワイワイフェスタが、晴天の中富水小学校で開催され、約4000人の来場者で賑わいました。

優美なリズムの太鼓でフェスタが幕を開け、ステージでは日本各地の踊りや、軽快なダンス、軽音楽の演奏などが繰り広げられました。

た。室内運動場と中庭に設営された各自治会や団体の模擬店には、どこも長蛇の列ができ、子どもからお年寄りまで、ゲームや軽食を楽しんでいました。
「じゃんけんぽん大会」には、小学生約250人が参加し、勝ち残った10人に図書券が贈られました。
小田原市社会福祉協議会が出店したガチャガチャでは、2万5900円が集まり、全額赤い羽根募金に寄付されました。

実行部会会長 金指隆夫氏

太鼓(小田原ばやし穴部保存会)
盛岡さんさ踊り(さんさの会)
よさこい踊り(よさこい舞友伝)
オカリナ演奏(S ポップス)
ヨサコイ踊り(紫華アムール)
ダンス(ダンススクールオーブ)

ステージイベント

小田原在住の女優で着物コーデイナータとしても御活躍の磯村みどりさんをゲストに迎え、トークショーが行われました。健康の秘訣や、生かされていることに感謝し、充実した人生を送ることに大切さをお話頂きました。



舞台上、模擬店で、展示で…
今年も全力で
ステキな笑顔



福引き抽選会結果

当たりくじ88本。特等は防災グッズ、1等は新米10kg、2等は新米5kg、3等は味噌、4等はティッシュ。見事に特等をゲットしたのは、若宮自治会の小学2年生でした。



フォトストーリー

笑顔実る秋

模擬店
 ともしび会
 府川自治会
 北ノ窪自治会
 新屋自治会
 体育振興会
 ワイワイ会
 下清水自治会
 交通安全母の会
 穴部自治会
 仲沢自治会
 本村自治会
 上清水自治会
 飯中自治会
 青少年育成会
 パン工房ハッピー
 防災分科会
 民生委員児童委員
 協議会
 若宮自治会
 社会福祉協議会
 富水地区まちづくり委員会
 (全二十店舗)





第5回 富水地区まちづくり芸能祭



お気楽亭とんぼ：鎌倉を拠点に活動する落語サークル「お気楽長屋」の一員で、尊徳記念館にもよく足を運んで「いっぷく寄席」を開いています



話術も巧みな栗田さんのマジック



「ひさの星」朗読

十二月十日(日)タウンセンターいずみで「芸能祭」が開催されました。富水地区まちづくり委員会の地域振興・環境美化分科会が、毎年この時期に開いているもので、今回で五回目になります。演目は手品、朗読、歌、落語の順で三人の芸人さんが出演しました。

小田原宿を舞台にした古典落語

「^ぬ抜け雀^{すずめ}」で^{いざな}笑いを誘う

トリを務めたのは落語のお気楽亭とんぼさん。演目は古典落語の「抜け雀」。小田原宿の宿屋に汚い身なりで泊まった若い男の話です。毎日酒を飲んで外に一步も出ないこのお客。さすがに心配になった宿の主人が勘定の催促をしたところ、やつぱり一文無しの絵師だった。そこでこの男「宿

代の代わりに」と、宿の衝立に五羽の雀の絵を描いた。そして「必ず戻るから誰にも売るなよ」と言って去っていった。

翌朝、なんと絵から雀が飛び出してエサを食べては戻ってくる。店は「雀のお宿」となつて大繁盛。衝立は千両もの値がついたが、約束だから売るわけにはいかない。またも、ある日一人の老人がやってきて、「雀が休めるように」と言って、止まり木と鳥かごを描いて去っていった。

それから雀は飛び出し、ては帰ってきて、鳥かごの中で休むようになった。この話がお殿様の大久保加賀守の耳にも入り、衝立は二千両の値が付いたが、約束だからと売らなかつた。時が過ぎ、ある日宿に立派な身なりの絵師が現れ

「反対にしたつ！」

見ていたちびっ子の声で大笑い

手品は、大井マジッククラブの栗田均さん。巧みな話術でお客さんを笑いに引き込みます。カードやスカーフを使っ

た。よく見ると、あの時の一文無しの男が約束通り戻ってきたではないか。ところが衝立を見た途端「このかごを描いたのは私の父だ。あぁなんてことだ！」と涙する。

主人が「とんでもない。親子二代で名人だ。あなたは立派な孝行息子ですのに。」「いやいや、ご主人、私は大事な親を、下賤なごかき(駕籠昇き)にしましたのだ。」

ギを交換するマジックをしたときです。「見ていたちびっ子から「裏返しにした!」とタネがばらされ、お客さんにも「愛嬌」と大笑いしました。

三十年来の友人

朗読は、映像が目に映るような稲葉あつ子さんの「ひさの星」。秋田の田舎に住む十歳程の女の子の話です。小さい子どもを助けるために自分が犬にかまれるような子でした。風雨が増して川に転落した政吉を助けて、自らは命を落としましたのです。そうしてひさは星になりました。

稲葉あつ子さんとお気楽亭とんぼさんは、昔、手作りの人形劇と一緒にやっていた三十年来の友人だそうです。息の合った進行で、会場の皆さんと歌をうたいました。

11/20(月) 健康ふれあいウォーキング

絶好のウォーキング日和。富水地区まちづくり委員会健康福祉分科会が開催した「小田原七福神をめぐるⅡ」には37人が参加しました。コースは、八幡山古郭東曲輪と早川口二重戸張を訪れた後、小田原七福神の後半として報身寺(恵比寿神)、大蓮寺(福祿寿)、圓福寺(布袋尊)の三寺を巡る約7kmの行程を、3時間で全員が完歩しました。

ガイド協会の湯山さんと鈴木さんの説明には、普段見慣れた街角にも、たくさんの再発見をもらえる楽しいものでした。運動をしながら、秋を満喫したよいウォーキングとなりました。



12/3(日) インディアカ大会開催

富水体育振興会主催の富水地区インディアカ大会が富水小学校体育館で開催されました。「インディアカ」は羽根の付いた特殊なボールを手で打ち合うバレーボールタイプのスポーツで、4対4で戦い、「サーブ」「トス」「レシーブ」「アタック」とあり、片手で行います。

対戦結果は、男子優勝=穴部A、準優勝=穴部B、3位=府川、混合優勝=スパイシーズA(北ノ窪)、準優勝=スパイシーズB(北ノ窪)、3位=府川、4位=穴部でした。参加者には、順位に応じた賞品や参加賞が贈られました。

12/13(水) 年末の交通安全キャンペーン

「年末交通事故防止運動」期間(12月11日～20日)に合わせて、富水地区まちづくり委員会交通安全分科会と東富水地区交通安全母の会が協力して交通安全キャンペーンを実施しました。富水駅、螢田駅、飯田岡駅、相模沼田駅の4駅に分かれて、自転車安全運転の啓発チラシと安全標語付きポケットティッシュを駅利用者到手渡ししながら、事故防止の協力を呼びかけました。交番の警察官や自治会長も応援に加わり、配布を手伝っていました。

無事故で明るい新年が迎えられるといいですね。



富水駅



螢田駅

11/5(日)・6(月) 富水自治会連合が視察研修

栃木県那須塩原市塩原公民館を訪問し、那須塩原市の自治会長連絡協議会様と意見交換を行いました。

自治会活動の活性化をメインテーマに、那須塩原市側から自治会活動促進に関する条例と、行政からの協力依頼業務を、富水側からは自治会カードや回覧板広告協賛事業についての説明をしたあと、高齢化社会への対応、自治会加入率の向上など両者が抱える問題について、活発な質疑や意見交換をすることができました。

私たち富水地区における自治会活性化の重要性を再認識すると同時に、克服すべき課題の難しさを感じました。



2023/11/06 09:54